

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市営住宅改善事業		担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	公営住宅法、鳴門市営住宅条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 18 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備			
基本事業	1	住宅ストックの有効活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の管理する市営住宅 今後も、既存市営住宅を活用していくため、適切な施設の改修を行っていく。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	・矢倉団地F棟外部改修工事														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> <td>30年度</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>市営住宅ストック改修・耐震診断棟数</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>棟</td> </tr> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	4	1	1	1	1	棟
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	4	1	1	1	1	棟										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	文書のほか戸別訪問をするなど入居者へ事前に工事の説明を行うなど、工事について協力が得られるような環境づくりを行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修棟数	4	1	1	1	棟
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数		4	1	—	—	棟
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	6,222	0	13,300	8,000	2,578	30,100
		全体予算額	6,222	0	13,300	8,000	2,578	30,100
		決算額	3,605	0	8,800	8,000	8,650	29,055
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
0.2	0.0		1,372		30,427			

【事務事業名：市営住宅改善事業】
(千円)

年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度	
事業費推移	事業費	51,640	29,055	42,898	36,900	36,900
	うち一般財源	4,910	8,650	2,888	(112)	(112)
	人件費	4,127	1,372	1,372	1,372	1,372
	総事業費	55,767	30,427	44,270	38,272	38,272

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった 計画的に改修工事を行うことが、市営住宅の長寿命化や入居者の生活環境の向上につながる。
	効率性	B:概ね効率的だった 入居者への文書や訪問により事前説明を行うなどにより工事を円滑に進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数
	目標	1棟
	実績	1棟
	評価	A:目標を達成できた 工事を行うことにより、建物の長寿命化や適切な設備更新を進めることができた。
③総合的な評価	A	建物の長寿命化や設備の適切な更新を進めることができ、市営住宅の住環境向上に寄与できたためA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後においても、毎年1棟ずつ行っている外部改修工事を行っていくなど計画的に建物の長寿命化や設備の更新を進める。また維持管理団地において計画的に階段に手摺りを設置する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	矢倉団地L棟外部改修工事			
	平成29年度	矢倉団地K棟外部改修工事			